

EPSON

EMP NetworkManager 操作ガイド

Offirio
オフィリオ プロジェクター

EMP-830



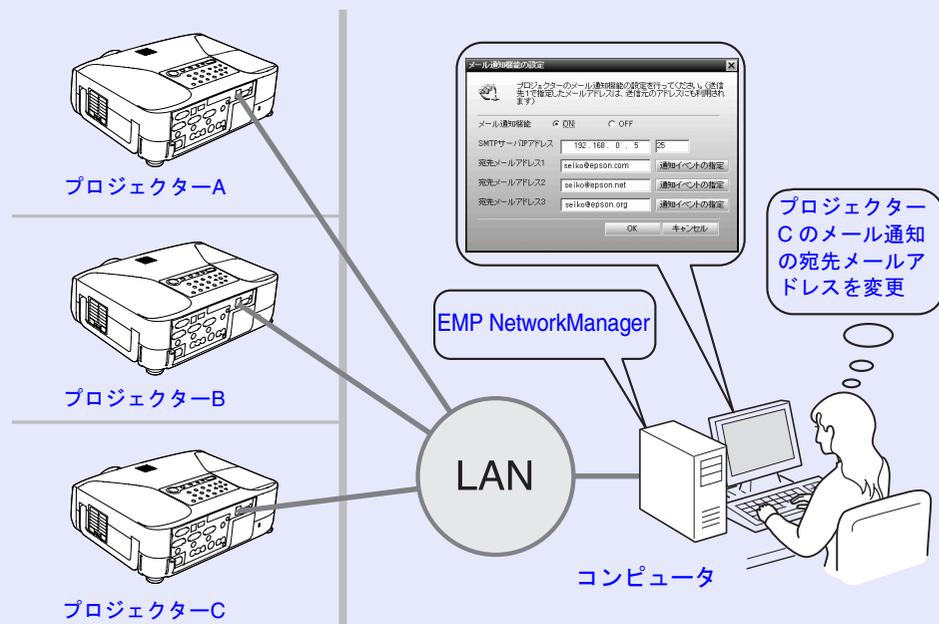


<u>EMP NetworkManagerでできること</u>	2
動作環境	2
インストールとアンインストール	2
インストール	3
アンインストール	4
操作を始める前に	4
<u>EMP NetworkManagerを起動する</u>	5
プロジェクターアイコンの見方	5
<u>プロジェクターに接続する</u>	6
<u>ネットワークの設定を行う</u>	7
ネットワークの基本設定	7
メール通知機能の設定	8
SNMPの設定	10
<u>接続したいプロジェクターが表示されないとき</u>	11
IPアドレスを指定して接続する	11
EMP Monitorで登録したリストをインポートする	11
<u>異常通知のメールが送られてきたら</u>	12

EMP NetworkManager を使うと、プロジェクターのネットワーク設定をコンピュータから変更できます。また、プロジェクターのネットワーク設定を別のプロジェクターにコピーすることもできます。

変更できる設定は、プロジェクター名、LAN の設定、メール通知機能の設定、SNMP の設定です。

最大 64 台のプロジェクターの設定を行えます。



動作環境

EMP NetworkManager が動作する環境は以下のとおりです。

※ Macintosh には対応していません。

OS※	Windows 98 SE / Me / NT 4.0 (SP6a、IE5 以上) / 2000 Professional/ XP Home Edition / XP Professional
CPU	PentiumMMX 166MHz 以上 (Pentium II 233MHz 以上を推奨)
メモリ容量	7MB 以上 (10MB 以上推奨)
ハードディスク空き容量	250KB 以上
ディスプレイ	XGA (1024 × 768) 以上の解像度、16 ビットカラー以上の表示色

インストールとアンインストール

同梱の『Projector Software』CD-ROM から次の手順でインストールします。『Projector Software』CD-ROM には、「EMP NetworkManager」と「EMP Monitor」が収録されています。必要に応じて選択してインストールできます。

「EMP Monitor」の機能や操作方法について 『EMP Monitor 操作ガイド』



ポイント

Windows2000/NT4.0/XPを使っている場合は、管理者権限のユーザーに限りインストールが行えます。

■ インストール

操作

- 1 コンピュータの電源を入れて、常駐アプリケーションをすべて終了します。
- 2 コンピュータに『Projector Software』CD-ROM をセットします。
自動的にインストーラが起動します。
- 3 ウィルスチェックプログラムに関する画面が表示されるので、内容を確認して「続ける」をクリックします。
ソフトウェア確認画面が表示されます。



ポイント

セットアッププログラムが起動しないときは、「スタート」→「ファイル名を指定して実行」で「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスを開き「CD-ROM のドライブ名: ¥SETUP.exe」を指定して「OK」ボタンをクリックしてください。

4

設定内容を確認して「インストール」ボタンをクリックします。



インストールする
ソフトウェアの選択

表示される
言語の変更

インストールの実行

インストーラの終了

インストールが始まります。以降は、画面の指示に従って進めてください。



■ アンインストール

Projector Software をアンインストールするには、「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」で不要になったソフトウェアを選択して「追加と削除」(Windows XP の場合は「変更と削除」)をクリックします。



ポイント

「EMP Monitor」と「EMP NetworkManager」を1回の操作でアンインストールすることはできません。1つずつアンインストールしてください。

操作を始める前に

EMP NetworkManager を起動する前に、次の点をご確認ください。

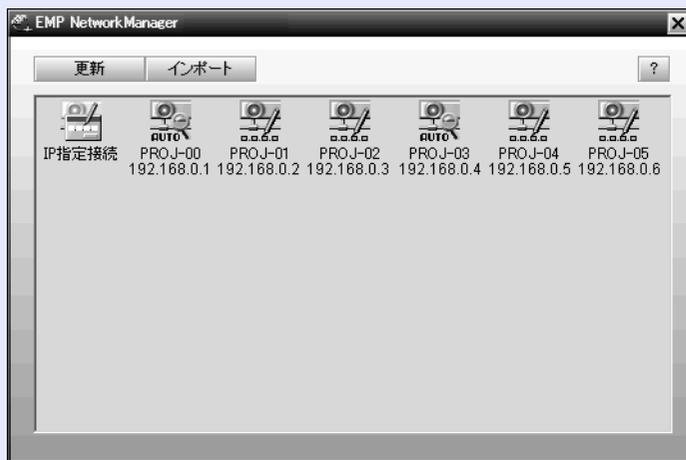
- 使用するコンピュータに EMP NetworkManager をインストールしておきます。☛ p.2
- コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。
 - ☛ 『取扱説明書』「プロジェクターのネットワーク設定をする (EMP-830)」

EMP NetworkManager を Windows から起動します。

操作

「スタート」→「プログラム」(または「すべてのプログラム」)→「EPSON Projector」→「EMP NetworkManager」の順にクリックして、EMP NetworkManager を起動します。

プロジェクターアイコンが表示されていない場合は、「接続したいプロジェクターが表示されないとき」(☞ p.11)を参照してください。



プロジェクターアイコンの見方

プロジェクターが次のようなアイコンで表示されます。

	プロジェクターの IP アドレスを指定して接続するためのボタンです。ダブルクリックすると、「IP アドレスを指定」画面が表示されます。
	自動検出されたプロジェクターです。
	以下のどちらかのプロジェクターです。 <ul style="list-style-type: none">• NetworkManager で手動登録されたプロジェクター• EMP Monitor によって登録されたプロジェクター



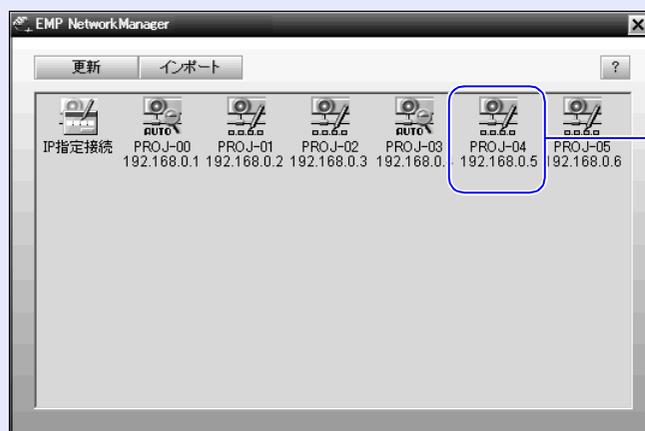
ポイント

セキュリティのためにパスワードの設定をお勧めします。プロジェクターアイコン上で右クリックして、「パスワード変更」を選択すると、管理者ユーザー (Admin) のパスワードの変更が行えます。

EMP NetworkManager からプロジェクトに接続します。

操作

ネットワークの設定を行うプロジェクトアイコンをダブルクリックします。



設定するプロジェクトアイコンをダブルクリックします。

プロジェクトと接続し、「ネットワークの設定」画面が表示されます。



ポイント

パスワードの入力画面が表示された場合は、プロジェクトの管理者ユーザー (Admin) のパスワードを入力して [OK] をクリックします。初期設定では、Admin のパスワードは設定されていません。セキュリティのために、管理者ユーザー (Admin) のパスワードを設定しておくことをお勧めします。パスワードは、EMP NetworkManager のプロジェクトアイコン上で右クリックして設定します。(☞ p.5)

ネットワークの基本設定

プロジェクターに接続すると、プロジェクター名とネットワーク設定の内容が表示されます。

DHCP が ON に設定されている場合は、ネットワーク設定の内容は変更できません。初期値では、DHCP は OFF に設定されています。

操作

1 以下の設定の変更したい項目を修正します。

プロジェクター名	プロジェクター名を入力します。半角換算で15文字以内で入力してください。プロジェクター名には、半角英数字と「-」(ハイフン)が使えます。なお、数字だけのプロジェクター名は設定できません。
DHCP ▶	DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を利用してIPアドレスを自動的に割り当てる場合は「ON」を選択します。IPアドレスを手動で設定する場合は「OFF」を選択します。
IPアドレス ▶	プロジェクターのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
サブネットマスク ▶	サブネットマスクのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.x.x.x～254.255.255.255、255.255.255.255 (xは0～255の数字)
ゲートウェイ ▶ アドレス	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)





プライマリ DNS	本機では、この設定は行えません。
セカンダリ DNS	
DNS ドメイン名	
WINS1	
WINS2	
「メール通知機能」ボタン	ボタンをクリックすると、メール通知機能の設定ができます。☛ p.8
「SNMP」ボタン	ボタンをクリックすると、SNMP による管理機能の設定ができます。☛ p.10
「無線 LAN」ボタン	本機ではこの設定は行えません。
「保存」ボタン	ボタンをクリックすると、設定した内容をファイルに保存できます。

2 「設定」ボタンをクリックします。

設定の終了画面が表示されます。



ポイント

メール通知機能が「ON」で、メール通知機能の設定内容を変更した場合は、「設定」ボタンをクリックすると、テストメール送信確認のメッセージが表示されます。

「はい」ボタンをクリックするとテストメールが送信され、設定の終了画面が表示されます。

3 「OK」ボタンをクリックします。

設定が適用されます。

メール通知機能の設定

メール通知機能の設定をしておくことで、ネットワークで接続しているプロジェクターが異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに対して異常状態がメールで通知されます。これにより、プロジェクターの異常を離れた場所においても知ることができます。



ポイント

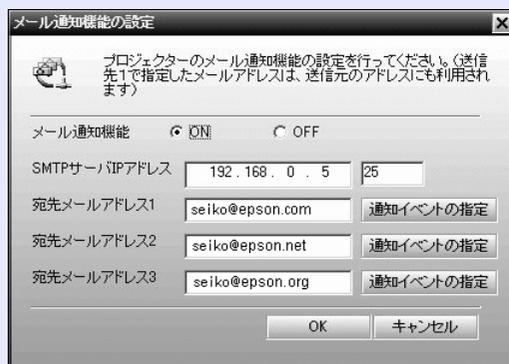
- 送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メールを送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで「拡張設定」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくことで、プロジェクターがスタンバイ状態(電源オフの状態)でも、監視ができます。☛『取扱説明書』「環境設定メニュー一覧」

操作

- 1 「ネットワークの設定」画面で「メール通知機能」ボタンをクリックします。

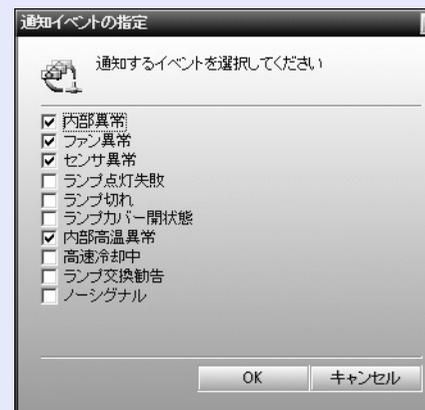


2 以下の設定をします。



メール通知機能	メール通知を行う場合に「ON」に設定します。
SMTP サーバ IP アドレス ▶	プロジェクターが使う SMTP サーバの IP アドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには 0 ~ 255 の数字を入力できます。ただし、以下の IP アドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0 ~ 255.255.255.255 (x は 0 ~ 255 の数字) SMTP サーバのポート番号を変更する場合は、ポート番号を入力します。初期値は 25 です。 1 ~ 65535 までの有効な数値を入力できます。
宛先メールアドレス 1	通知メールの送信先メールアドレスを 3 件まで指定できます。半角英数字で最大 53 文字まで入力できます。 宛先メールアドレス 1 に指定したアドレスは、送信元アドレスとしても利用されます。
宛先メールアドレス 2	
宛先メールアドレス 3	

3 「通知イベントの指定」ボタンをクリックし、表示されたダイアログボックスで、メール通知する項目にチェックを付けます。



4 「OK」ボタンをクリックします。
「メール通知機能の設定」画面に戻ります。
それぞれの送信先について、手順 3 ~ 4 の操作で通知イベントを設定します。

5 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。
「ネットワークの設定」画面に戻ります。

ポイント

メール通知機能が「ON」で、メール通知機能の設定内容を変更した場合は、「ネットワークの設定」画面で「設定」ボタンをクリックすると、テストメール送信確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックするとテストメールが送信されます。





SNMP の設定

プロジェクターの SNMP の設定をしておくと、プロジェクターが異常 / 警告状態になったとき、設定したコンピュータに異常状態が通知されます。これにより、離れた場所にあるコンピュータでもプロジェクターの異常を知ることができます。

操作

1 「ネットワークの設定」画面で「SNMP」ボタンをクリックします。

2 以下の設定をし、「OK」ボタンをクリックします。

トラップ IP アドレス 1	プロジェクターの異常状態を知らせるコンピュータの IP アドレスを入力します。「トラップ IP アドレス 1」で指定した IP アドレスに通知できなかった場合、「トラップ IP アドレス 2」で指定した IP アドレスに通知されます。
トラップ IP アドレス 2	アドレスの各フィールドには 0 ~ 255 の数字を入力できます。ただし、以下の IP アドレスは使用できません。127.x.x.x、224.0.0.0 ~ 255.255.255.255 (x は 0 ~ 255 の数字)
コミュニティ名	SNMP のコミュニティ名を入力します。半角英数字 8 文字以内で入力してください。



ポイント

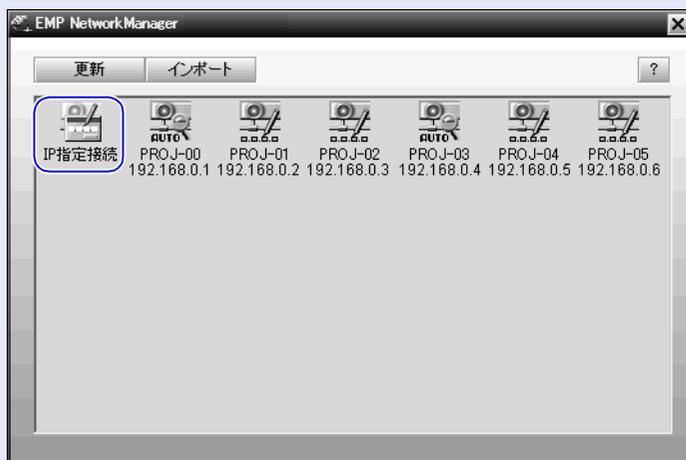
- 通知先の IP アドレスは 2 つまで登録でき、1 番目に指定した IP アドレスに通知できなかった場合、2 番目の IP アドレスに通知されます。
- SNMP による管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP 機能を使ってプロジェクターを監視するには、コンピュータ側に SNMP マネージャプログラムがインストールされている必要があります。

EMP NetworkManager に目的のプロジェクターアイコンが表示されていない場合は、次の操作をします。

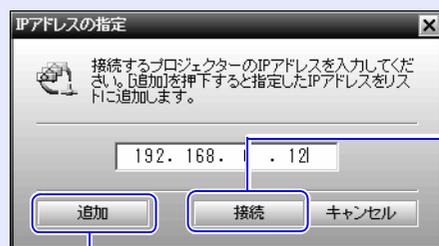
IP アドレスを指定して接続する

操作

- 1 「IP 指定接続」アイコンをダブルクリックします。



- 2 接続するプロジェクターの IP アドレスを入力します。



クリックすると指定したプロジェクターに接続します。

クリックすると、指定したプロジェクターのアイコンが一覧に追加されます。

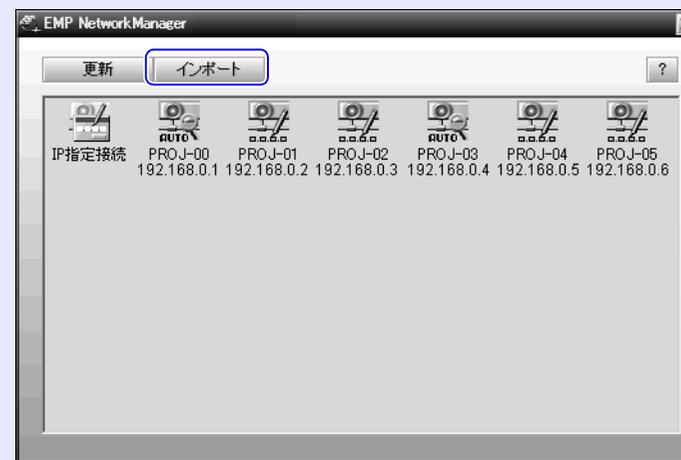
- 3 「接続」ボタンをクリックします。

EMP Monitor で登録したリストをインポートする

同梱の『Projector Software』CD-ROM に収録されている EMP Monitor で登録したプロジェクターリストを読み込み、共用できます。

操作

- 1 「インポート」ボタンをクリックします。



- 2 EMP Monitor で登録していたファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

EMP Monitor で登録していたプロジェクターのアイコンが追加されます。



メール通知機能の「宛先メールアドレス」で設定した IP アドレスに、件名が「EPSON Projector」と記載されたメールが送信されてきたら、それがプロジェクターの異常を通知するメールです。

メールの本文には次のことが記載されています。

- 1 行目: 異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名
- 2 行目: 異常が生じたプロジェクターに設定されている IP アドレス
- 3 行目以降: 異常の内容

異常の内容は、1 行に 1 つずつ記載されています。メッセージの示す内容は次表のとおりです。

メッセージ※	原因	対処方法
Internal error	内部異常	「インジケータの見方」 ☛『取扱説明書』「インジケータの見方」
Fan related error	ファン異常	
Sensor error	センサ異常	
Lamp cover is open.	ランプカバー開状態	
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗	
Lamp out	ランプ切れ	
Internal temperature error	内部高温異常 (オーバーヒート)	
High-speed cooling in progress	高速冷却中	
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告	
No-signal	ノーシグナル	プロジェクターに映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。

※ メッセージの最初に(+)や(-)が付きます。

(+): 本機に異常が発生した場合

(-): 本機の異常が対処された場合



ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGA は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows、WindowsNT、VGA は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Cisco Systemsは米国その他の国におけるシスコシステムズ株式会社の登録商標です。

Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。